学校番号	２１０２

令和３年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	音楽Ⅱ「MOUSA２」　（教育芸術社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を学習します。
学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技テストで評価します。

音楽の学習は、音楽Ⅱの授業を取った人たちとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽を作るかについて表現意図を持っている。	創意工夫を活かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
中間	「歌唱」 日本のポップス ・明日へのマーチ ・ハナミズキ ・糸 ・涙そうそう	発音の仕方による表現上の効果、歌詞の内容と音楽を形づくっている要素の働きを感受して表現を工夫する。 歌詞の内容と、音楽を形づくっている要素に着目して演奏する。		○	○		a:歌詞の内容と、音楽を形づくっている要素とのかかわりに興味・関心をもっている。 b:歌詞の内容と、音楽を形づくっている要素の働きを感じて表現を工夫している。 c:表現したいことを伝えるための歌唱技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	「歌唱」 日本歌曲 ・早春賦 ・幼き日のアルバム ・赤とんぼ	曲種に応じてふさわしい発声を意識し、表現を工夫する。 表現効果の違いに着目shちえ、ふさわしい表現を工夫する。		○	○		a:曲種に応じた発声の違いを理解し、興味・関心をもっている。 b:表現形態による歌唱の特徴を感じ取り、表現を工夫している。 c:表現したいことを伝えるための歌唱技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	「器楽」 ボディーパーカッション ・Prelude Ⅰ		○		○		a:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c:リズム譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	「器楽」 リコーダーアンサンブル ・ソナタ ・愛のテーマ	音色、テクスチュアを意識して、音の響きを感じ取り、曲のイメージを伝えられるように、グループでアンサンブルにおける表現を工夫する。		○	○		a:表現したい内容を他者に伝え、アンサンブルの活動に積極的に参加している。 b:音色やテクスチュアを意識して、アンサンブルにおける表現を工夫して演奏している。 c:自分たちの表現したいことを伝えるためんお技能を身につけているか。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	「器楽」 ギター ・明日へのマーチ ・糸 ・愛のロマンス ・Tears In Heaven	テンポや強弱など音楽を形づくっている要素をアレンジし、その働きを理解して演奏の楽しさを味わい表現を工夫する。		○	○		a:音楽を形づくっている要素の働きを意識し、ギターにおける表現に興味・関心をもっている。 b:音楽を形づくっている要素の働きを理解して、効果的な表現を工夫している。 c:考えた内容を演奏を通じて表現する技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	「鑑賞」 日本の伝統音楽 ・琵琶楽『川中島』 ・能『羽衣』 ・歌舞伎『仮名手本忠臣蔵』 ・文楽『義経千本桜』	社会の変化、文化の発展、近隣地域の影響など、楽曲の文化的・歴史的背景を感じ取り、人間の生活と音楽のかかわりに着目しながら、日本の伝統音楽文化に対する理解を深める。 演奏形態や文化・歴史の背景、音楽の諸要素を根拠として、音楽の良さを感受し、言葉で表す。	○			○	a:文化的・歴史的背景における日本の伝統音楽の特徴に、興味・関心をもち、積極的に感じとっている。 d:聴き取ったことと感じ取ったことを結びつけて、楽曲の特徴や音楽文化について言葉で表している。	観察 ワークシート
期末	「歌唱」 ドイツ歌曲 ・ Sehnsucht nach dem Frühlinge ・Die Lotosblume	歌曲にふさわしい発声法を身に付け，歌詞の内容や言語の特徴などを理解し，イメージをもって歌う。	○	○			a: 曲想と歌詞の内容とのかかわりや言語の特徴などに関心をもち，イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b 曲想と歌詞の内容とのかかわりや言語の特徴を理解し，どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 歌曲にふさわしい発声の技能や，レガートやスタッカートを効果的に生かすために必要な技能を身に付け，創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	「歌唱」 イタリア歌曲 ・Funicul í -Funiculá ・Nel cor piú non mi sento	歌曲にふさわしい発声法を身に付け，歌詞の内容や言語の特徴などを理解し，イメージをもって歌う。	○	○			a：曲想と歌詞の内容とのかかわりや言語の特徴などに関心をもち，イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b 曲想と歌詞の内容とのかかわりや言語の特徴を理解し，どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c：歌曲にふさわしい発声の技能や，レガートやスタッカートを効果的に生かすために必要な技能を身に付け，創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	「歌唱」 英語歌曲 ・So Much Love ・ The Long And Winding Road ・Amazing grace ・Deep River ・Tonight ・Tears In Heaven	歌曲にふさわしい発声法を身に付け，歌詞の内容や言語の特徴などを理解し，イメージをもって歌う。	○	○			a：曲想と歌詞の内容とのかかわりや言語の特徴などに関心をもち，イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b 曲想と歌詞の内容とのかかわりや言語の特徴を理解し，どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c：歌曲にふさわしい発声の技能や，レガートやスタッカートを効果的に生かすために必要な技能を身に付け，創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	「歌唱」 フランス歌曲 ・Après un rêve	フランス語の発音の特徴を生かして歌詞の内容に応じた表現を工夫する。		○	○		a:歌詞の内容と、音楽を形づくっている要素とのかかわりに興味・関心をもっている。 b：:曲想を把握して主体的に表現を工夫している。 c:表現したいことを伝えるための歌唱技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	「器楽」 箏 ・六段の調べ	基本的な奏法身につける。 日本の伝統音楽の特徴や楽器の奏法を習得する。		○	○		a:楽曲にふさわしい音色を考え表現することに興味・関心をもっている。 b:曲想を生かして主体的に表現を工夫している。 c:音色を意識し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	「器楽」 アンサンブル ・スタジオ・ジブリ・メドレー ・E-TEN-RAKU	全てのパートを通して、視奏力を深める。 音色や演奏形態による表現効果の違いに着目し、グループで器楽構成を考え、合奏の表現を工夫する。	○		○		a:音色や編成の違いによる表現効果に興味・関心をもっている。 b:各楽器の音色や楽器編成の特徴を生かした器楽の表現を工夫している。 c:音色と各楽器の役割を意識し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	「創作」 ・身近な音を使って曲をつくろう ・モティーフを生かしてメロディーをつくろう	表現の工夫の幅を広げ、創作のさらなる楽しさや喜びを味わう。		○			b: 旋律の創作や副次的な旋律づくり，音素材を用いた音楽構成，音楽を形づくっている要素を変化させる変奏や編曲などに関して，表現意図をもって創意工夫をしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	「鑑賞」 ・水の戯れ ・水に映る影 ・レクイエム	社会の変化、文化の発展、近隣地域の影響など楽曲の文化的・歴史的背景を感じ取り、人間の生活と音楽の関わりに着目しながら、音楽文化に対する理解を深める。 演奏形態や文化・歴史の背景、音楽の諸要素を根拠として、音楽のよさを享受し、言葉で表す。	○			○	a:文化的・歴史的背景における音楽の特徴に興味・関心をもち、 積極的に感じ取っている。 d:聴き取ったことと感じ取ったことを結びつけて、楽曲の特徴を言葉で表している。	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。